

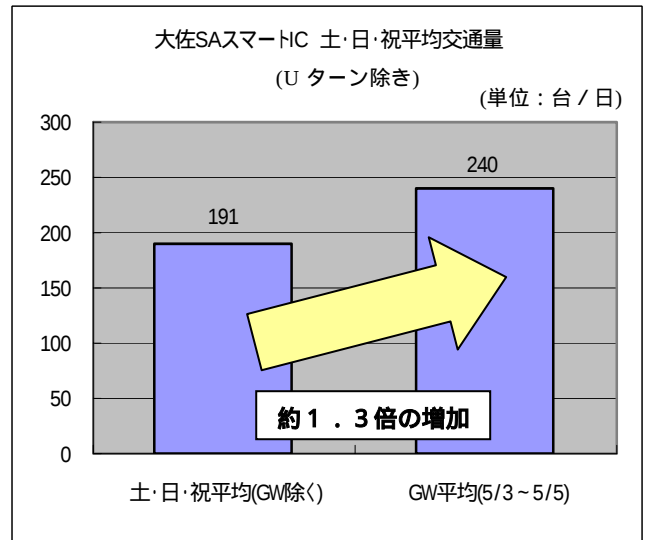
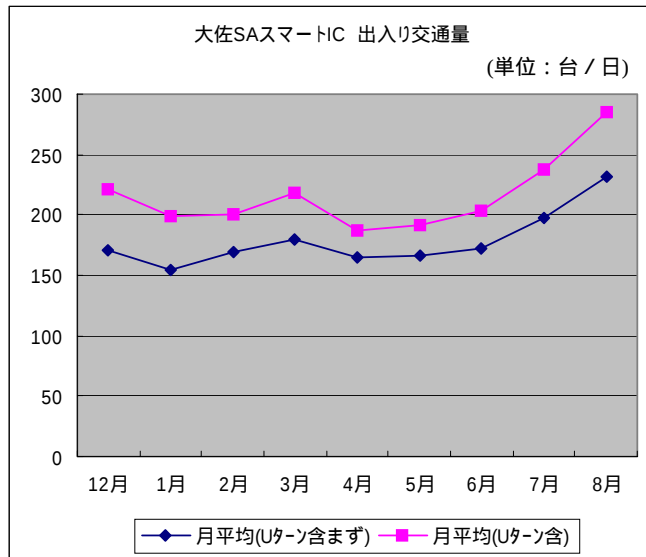
中国自動車道 大佐SAスマートIC社会実験 中間報告

1. 利用交通

大佐SAスマートIC 出入交通量 (H16.12.19~H17.8.31)

大佐SAスマートICの利用台数は5月以降増加傾向にあり、8月平均利用台数は**231台/日** (**285台/日**)で、実験期間中最大となっている。

GWの平均では、全期間の土・日・祝平均(GW除く)に比べて、約1.3倍の**240台/日**が利用。社会実験中の最大交通量は、8月14日(日)の355台/日(Uターン除き)、8月20日(土)の433台/日(Uターン含)。



(単位：台/日)

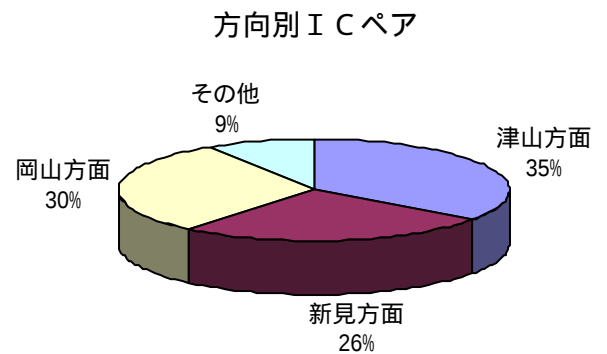
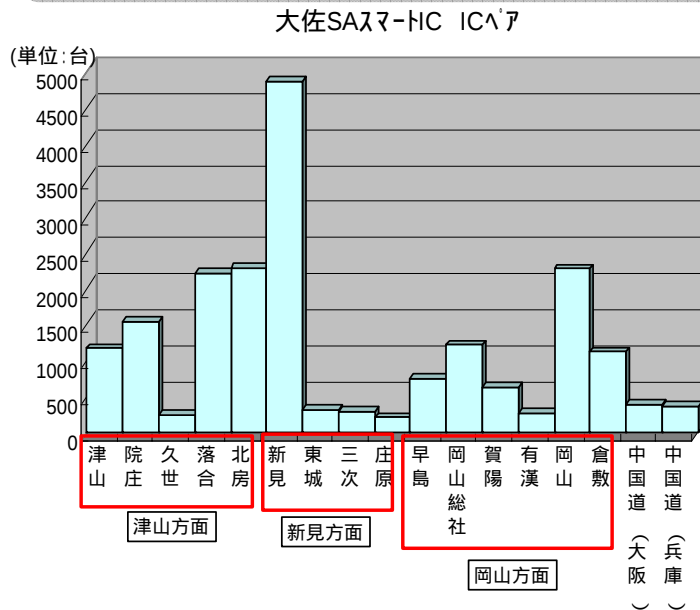
	全体平均	12月平均	1月平均	2月平均	3月平均	4月平均	5月平均	6月平均	7月平均	8月平均	全交通量
全 体	179	171	155	170	180	165	166	173	197	231	45,929
平 日	172	177	150	164	173	155	151	165	193	221	
土・日・祝	192	167	165	182	196	186	189	195	203	259	
全 体	216	222	199	200	218	187	191	203	237	285	55,176
平 日	208	228	195	194	210	177	176	194	234	273	
土・日・祝	230	216	205	212	237	210	213	228	244	319	

大佐SAを利用するため、スマートICをUターン(ON、OFF)する車を含めた交通量

注)12/18は実験初日のため、平均から除外した。

大佐SAスマートIC 出口ICペア(H16.12.19~H17.8.31 累計)

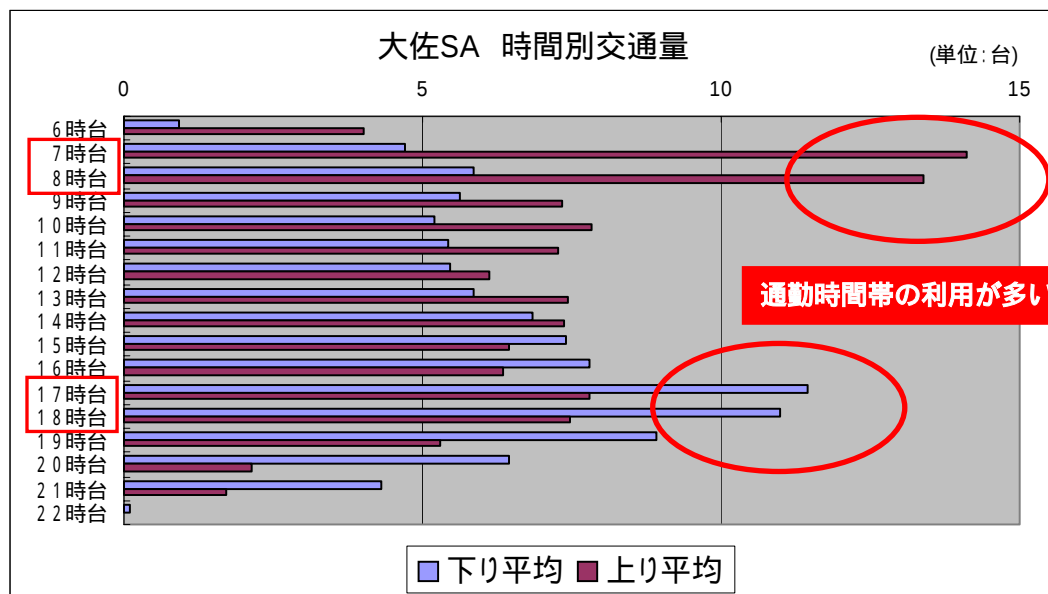
出口ICペアを見ると、津山・岡山・新見方面からの利用が各々3割程度を占めている。



データは、累計200台以上のインターチェンジのみとしています。

時間帯別平均利用状況(H16.12.19~H17.8.31)

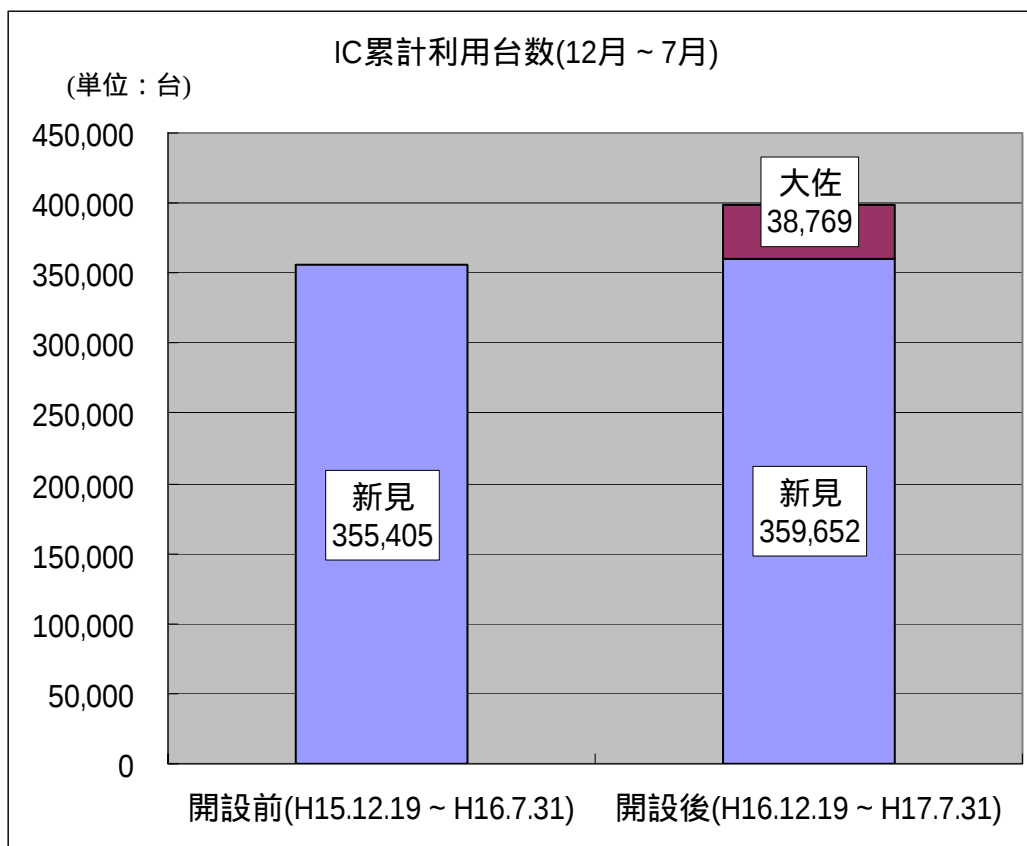
時間帯別の利用交通量は、7・8時台(上り) 17・18時台(下り)が多い。



6～8時台、17～19時台はETC通勤割引の時間帯

IC累計利用台数(12月～7月)

新見市内のIC累計利用台数を見ると、新見ICは前年同期(12月～7月)に対し横ばいであるため、大佐SAスマートIC利用分が純増している。



2 . 利用状況

大佐SA利用者アンケート調査

実施日：平成17年1月19日(水)（回答数73票）,平成17年6月26日(日)・29日(水)（回答数93票）

利用者の目的地及び目的

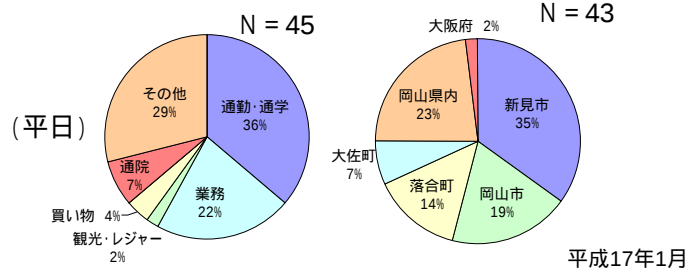
大佐SAスマートICを入口とした場合の目的は、通勤・通学、業務が多く、買い物、通院等にも利用されている。中でも6月の平日では、通院が23%と高い割合を占めている。

大佐SAを出口とした場合には通勤・通学、業務が多くを占めている。
目的地として多いのは、新見市（旧大佐町含む）と岡山市になっている。

【大佐SAから高速道に乗る利用者の目的、目的地】

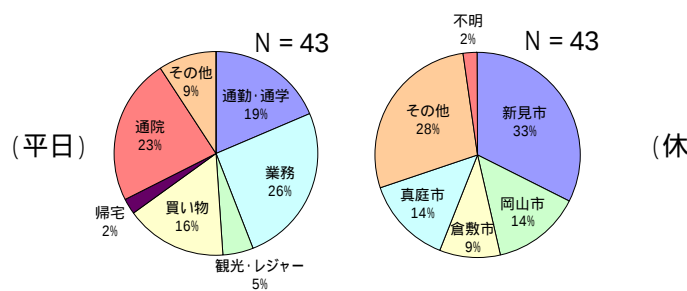
(目的)

(目的地)



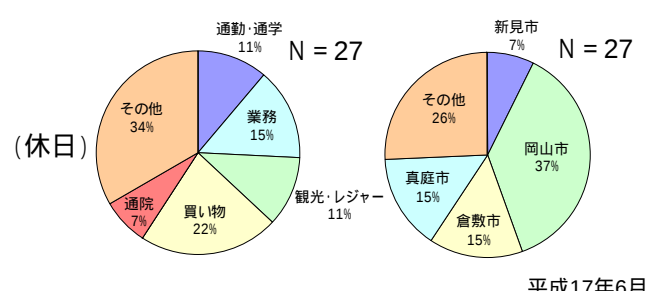
(目的)

(目的地)



(目的)

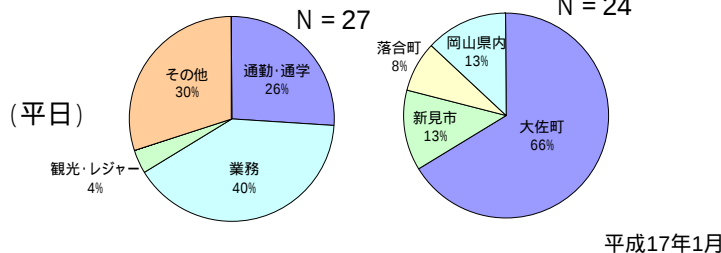
(目的地)



【高速道から大佐SAで降りる利用者の目的、目的地】

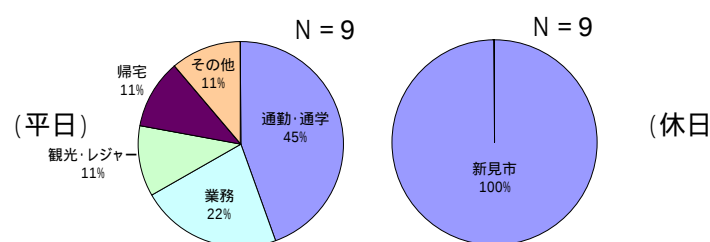
(目的)

(目的地)



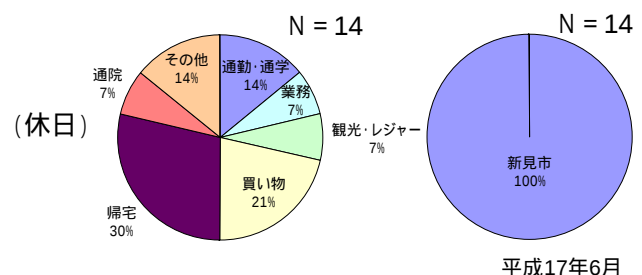
(目的)

(目的地)



(目的)

(目的地)

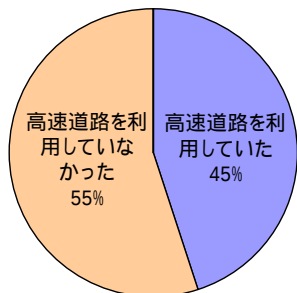


スマートICによる高速道路利用の変化

社会実験前の高速道路利用状況をみると、1月時点、6月時点ともに、高速道路を利用していなかった人が過半数を占めており、高速道路利用が促進されている。従来のICからの転換の内訳をみると、新見IC、北房ICからの転換が多い。

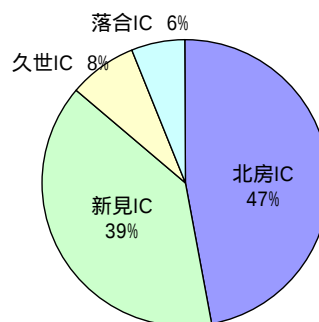
【大佐SA開設前の高速道路利用状況】

N = 73



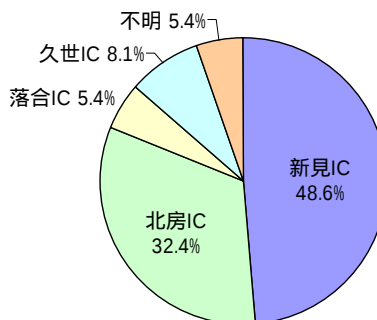
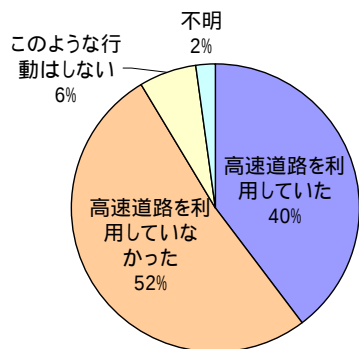
【大佐SA開設前の利用IC】

N = 36



平成17年1月

N = 93



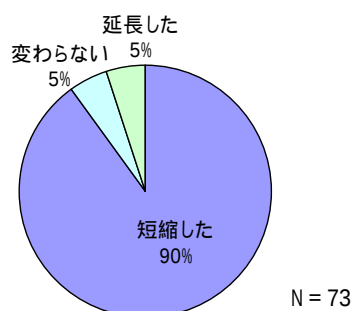
N = 37

平成17年6月

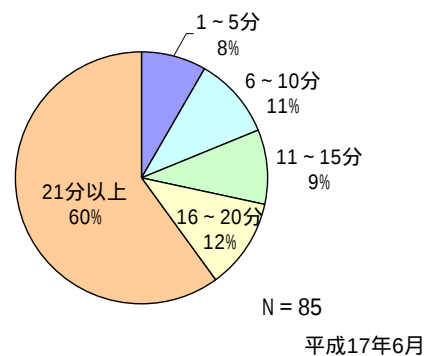
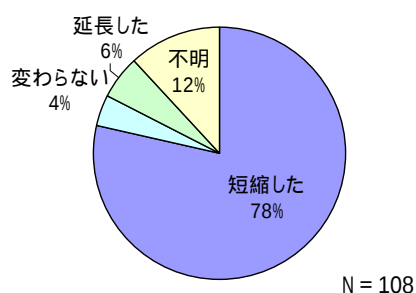
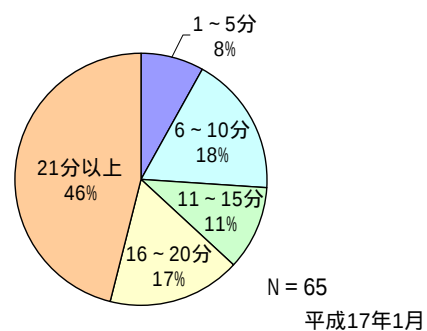
時間短縮効果

大佐SAスマートICを利用することで、利用者の概ね8割以上が時間短縮効果があったと回答しており、所要時間が16分以上短縮した利用者が6割以上を占めている。利用者の目的地までの時間短縮の平均は、1月は24分、6月は35分となっている。

【目的地までの総所要時間の変化】



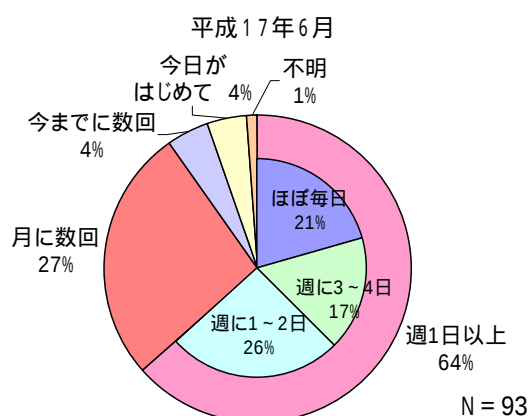
【目的地までの時間短縮】



利用頻度

大佐SAスマートICの利用頻度は、週1日以上利用している利用者が約6割以上を占めている。

【スマートICの利用頻度】



行動範囲の拡大

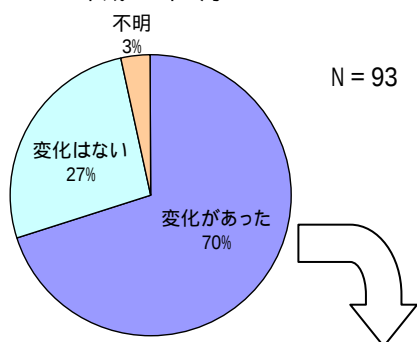
スマートICの開設により、70%が買い物行動に変化があったとしており、衣料品、日用雑貨、食料品などの買い物行動が変化している。

レジャー活動では、66%が変化があったと回答しており、レジャー施設への来訪が変化している。

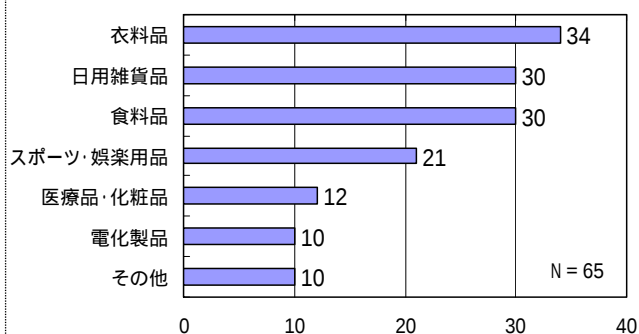
買い物行動、レジャー活動とも、新見市をはじめ近隣で済ませていたが岡山市、倉敷市等に出掛けるようになった。

【スマートICによる買い物行動の変化】

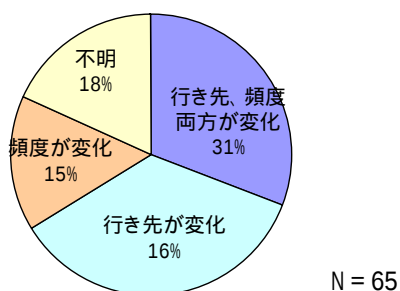
平成17年6月



(変化した買い物品目)



(行き先・頻度の変化)

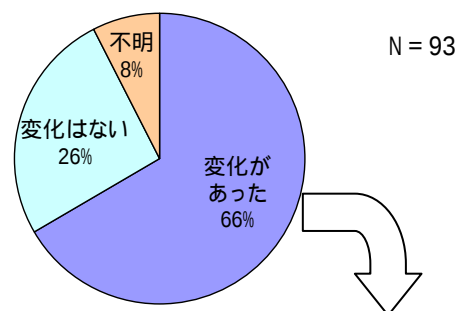


(具体的な行き先の変化)

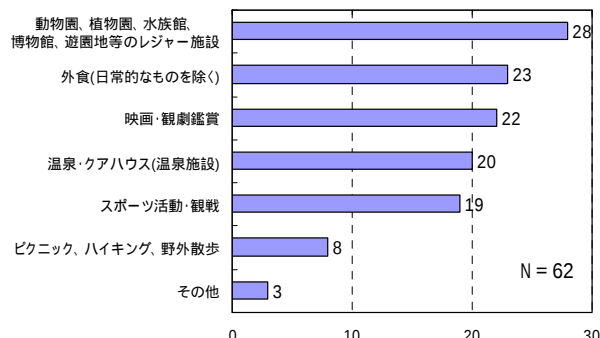
以前の行き先	開設後の行き先	サンプル数	以前の行き先	開設後の行き先	サンプル数
新見市	→ 真庭市	8	真庭市	→ 岡山市	1
	→ 倉敷市	5		→ 倉敷市	1
	→ 岡山市	3		→ 広島市	1
	→ 広島市	1		→ 津山市	1
	→ 津山市	1	津山市	→ 岡山市	1
	→ 米子市	1		→ 津山市	1
広島市安佐北区	→ 新見市	2	計		22
	→ 倉敷市	1			

【スマートICによるレジャー活動の変化】

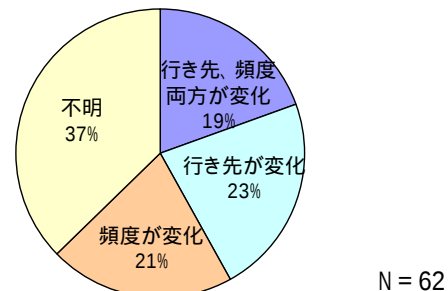
平成17年6月



(変化したレジャー活動内容)



(行き先・頻度の変化)



(具体的な行き先の変化)

以前の行き先	開設後の行き先	サンプル数	以前の行き先	開設後の行き先	サンプル数
新見市	→ 倉敷市	4	真庭市	→ 広島市	1
	→ 岡山市	3		→ 高梁市	1
	→ 倉敷市	2		→ 真庭市	1
	→ 神戸市	2		→ 倉敷市	1
	→ 鳥取県	1		→ 津山市	1
	→ 津山市	2		→ 岡山市	1
	→ 米子市	2	真庭市	→ 倉敷市	1
	→ 新見市	1		→ 岡山市	1
岡山市	→ 岡山市	1	岡山県内	→ 山陰方面	1
高梁市	→ 大阪府	1	隣接市町村	→ 県内外へ移動範囲広く	1
	→ 岡山市	1	計		30

大型病院等への移動支援

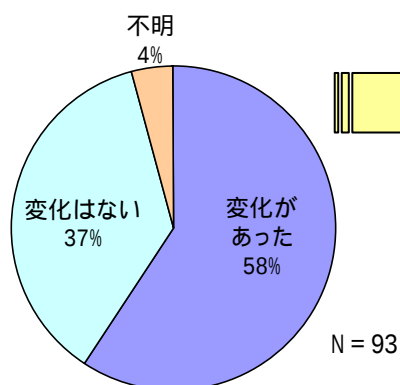
58%の人が、スマートICの開設により、通院行動を変化させており、その理由としては「移動時間が短縮されるから」が最も多くなっている。

行き先・頻度ともに同程度の割合で変化している。

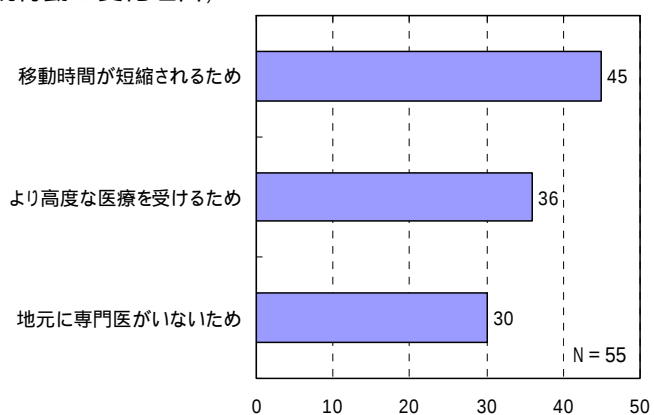
78%の人がスマートIC開設により安心感が向上したと回答しており、行動の変化理由とあわせてみると、スマートICの開設により、高度・専門的な医療が受けやすくなり、安心感が向上していることが分かる。

【スマートICによる通院行動の変化】

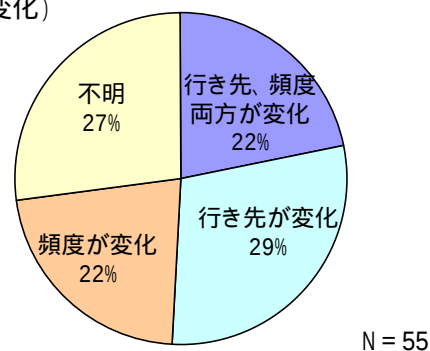
平成17年6月



(通院行動の変化理由)

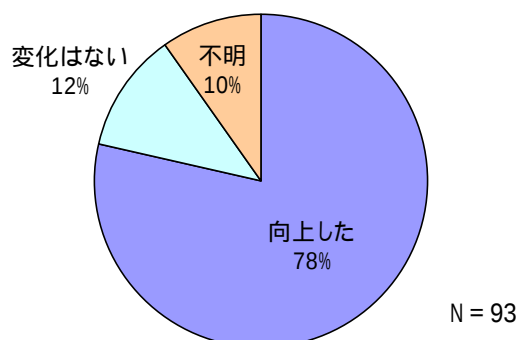


(行き先・頻度の変化)



【スマートICによる安心感の向上】

平成17年6月



3. 主要観光地におけるヒアリング調査

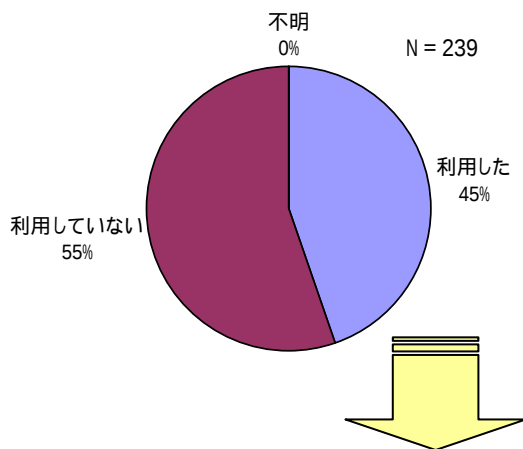
主要観光施設利用者ヒアリング調査 実施日：平成17年5月3日(祝)、4日(祝) 回答数243票

実施施設： 大佐山オートキャンプ場、 風の湯温泉、 B&C海洋センター、 大佐ネイチャークラブ

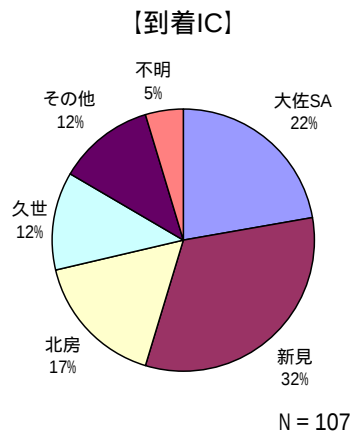
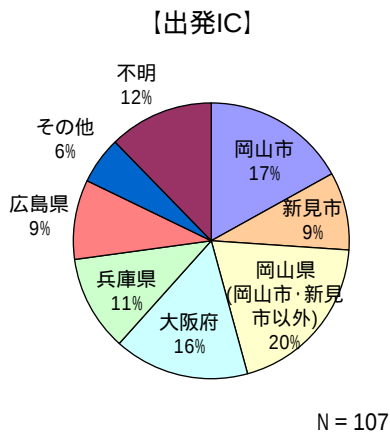
観光施設までの高速道路利用

観光施設への移動は45%が高速道路を利用しており、岡山県内からの利用が多い。到着ICとしては、新見ICが32%と最も多いが、大佐SAも22%と多くの人が利用している。

【高速道路の利用の有無】



【観光客の利用IC】



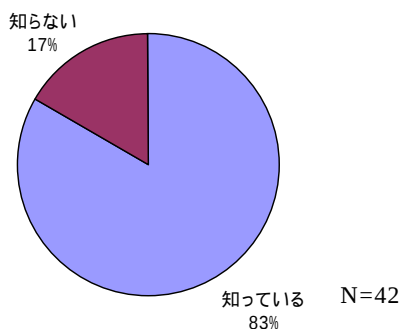
大佐SAスマートICの認知度

大佐SAスマートICの認知度は、約6割～8割である。
認知手段としてはポスターや口コミでの認知が進んでいる。

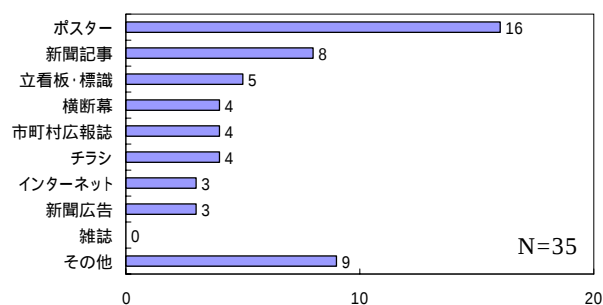
【スマートICの認知度と認知手段】

平成17年2月

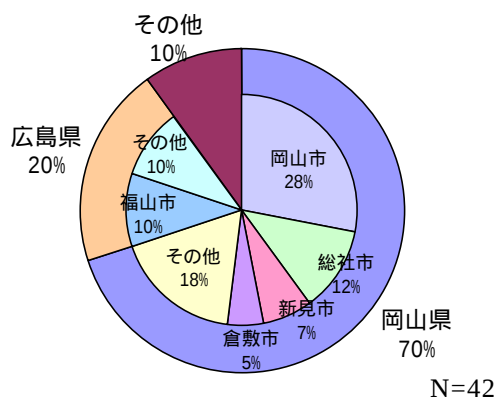
(スマートICの認知度)



(認知媒体)

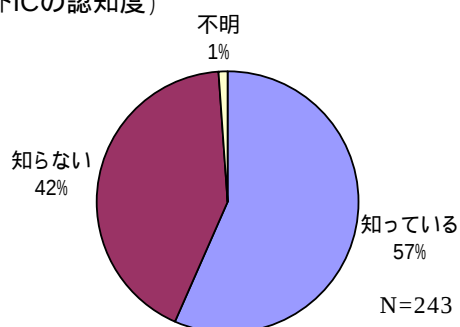


(当日の出発地)

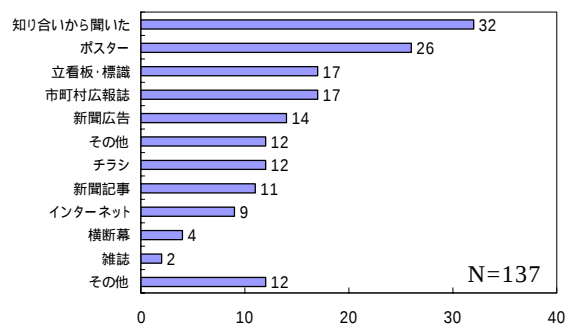


平成17年5月

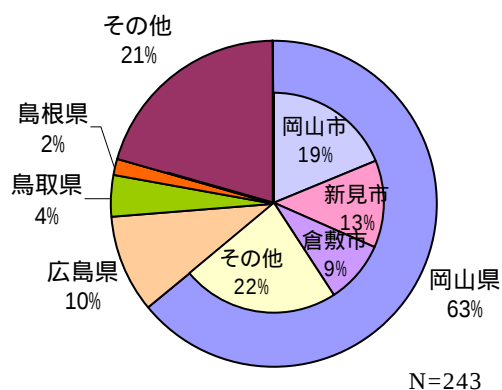
(スマートICの認知度)



(認知媒体)



(当日の出発地)



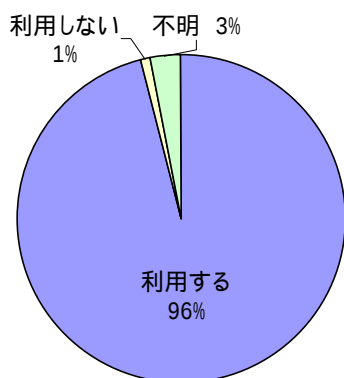
4. 今後の大佐SAスマートICの利用動向について

スマートIC利用者では、2月・6月の調査とも、90%以上がこれからも利用したいと回答している。

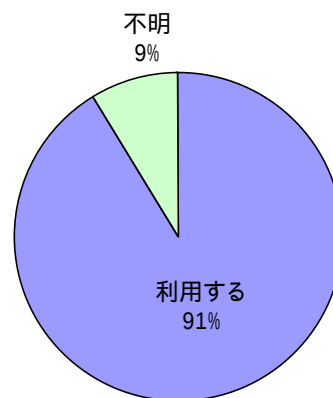
観光施設利用者へのヒアリング調査では、約5割～7割が「利用したい」、「今後ETCを付けたら利用する」と回答している。

大佐SA利用者アンケート調査

実施日：平成17年2月17日(木)・20日(日)
(回答数93票)

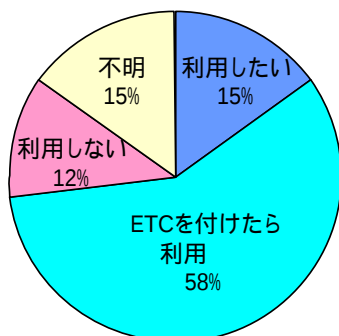


実施日：平成17年6月26(日)・29日(水)
(回答数93票)

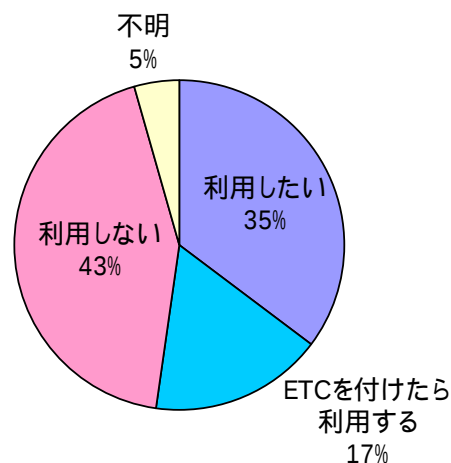


主要観光施設利用者ヒアリング調査

実施日：平成17年2月11～12日 (回答数26票)



実施日：平成17年5月3～4日 (回答数243票)



5. 救急車の利用状況について

大佐SAスマートICを利用した救急車による患者搬送回数は、9ヶ月間で54回。
（うち落合への搬送回数は44回）
落合病院への搬送に、現道利用で所要時間約45分が、大佐SAスマートICの利用により約26分に短縮している。

大佐SAスマートICを利用した搬送実績

月	使用回数
12月	5
1月	7
2月	4
3月	11
4月	3
5月	8
6月	4
7月	4
8月	8
合計	54

8月末 現在

大佐町から落合病院へ救急搬送する場合の経路比較

